

本県では、琵琶湖を中心とする公共用水域の水質を保全するため、下水道の整備や農業排水対策等に取り組んでいます。また、山地災害による被害の復旧や保安林の機能を維持強化するための治山施設の整備【※】を行っています。

今後は、持続可能で魅力ある県土づくりのため、自然環境が有する多様な機能を賢く活用したインフラ整備や土地利用等のグリーンインフラの取組をハード・ソフト両面から進めていく視点も求められます。

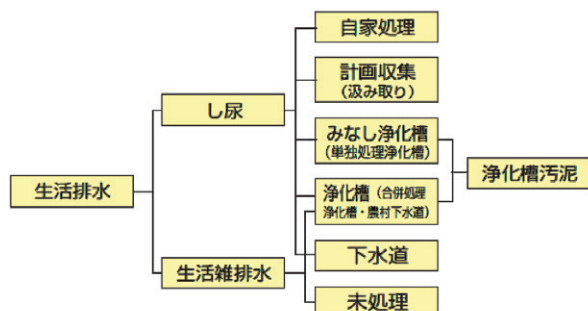
【※】 第2章P34～35に記載

下水道・排水の取組

●生活雑排水対策の推進

＜循環社会推進課＞

生活排水は、炊事、洗濯、入浴、排泄など生活に伴い排出される水のことで、し尿に係るものと、それ以外の生活雑排水とに分けられます。



● 下水道の整備

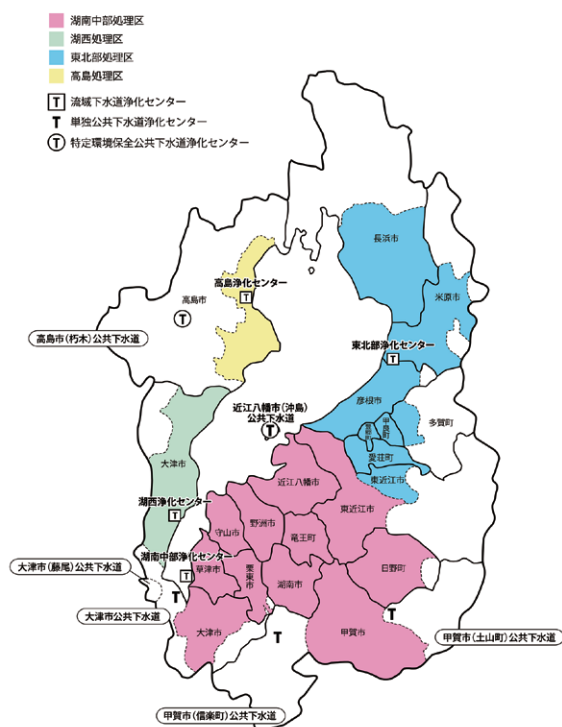
＜下水道課＞

琵琶湖を中心とする公共用水域の水質を保全するため、下水道の整備に積極的に取り組んできました。

閉鎖性水域である琵琶湖の富栄養化を防止するため、いずれの処理施設でも窒素・リンの除去を目的とした高度処理を行っており、平成 27 年度末時点での人口に占める高度処理人口の割合は都道府県で 1 位となっています。

◆下水道処理区域図

滋賀県琵琶湖流域下水道区域図（平成30年度末現在）

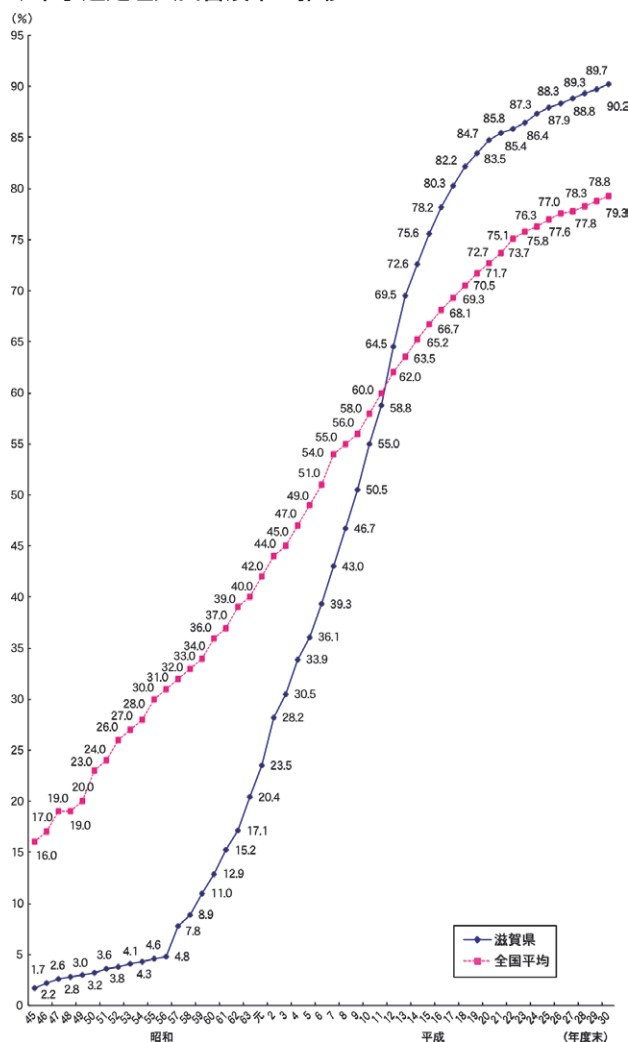


◆下水処理水質（※）

水質項目	COD	T-N	T-P
流入水質	92.3	29.2	3.36
放流水質	5.1	5.0	0.06
除去率 (%)	94.5	82.9	98.2

※琵琶湖流域下水道湖南中部処理区における平成 30 年度の処理水質

◆下水道処理人口普及率の推移



◆下水道を利用できる県民の割合（平成30年度）

90. 2%

◆市街地排水浄化対策事業概要

主 体	名 称	事業期間	集水面積	施設の概要
滋賀県 草津市	山寺川市街地排水浄化対策事業 (草津・山寺川流域)	平成10～14年度 (平成15年度供用開始)	80ha	導水渠、沈砂池、貯留兼沈殿池、接触酸化槽、植生浄化など
滋賀県	守山栗東雨水幹線	平成14～20年度(第1期) 平成21～24年度(第2期) 平成25年度～(第3期)	487ha (守山市246ha、 栗東市241ha)	管渠(φ2200～4750mm) L=4833m 接続マンホール、放流渠、雨水排水ポンプ、濃縮汚水送水ポンプなど



山寺川市街地排水浄化施設
「伯母川ビオ・パーク」



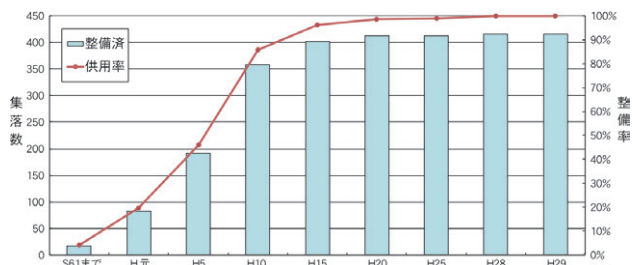
守山栗東雨水幹線放流口

●農業集落排水処理施設の整備

＜農村振興課＞

本県では、農業用排水の水質保全や農村生活環境の改善を図るとともに、琵琶湖などの公共用水域の水質保全に寄与するため、数集落の小規模下水道である農業集落排水処理施設(農村下水道)の整備を推進し、平成28年度に整備率100%を達成しました。

◆農村下水道の整備実績



●農業排水対策の推進

＜農業経営課、耕地課、農村振興課＞

代かき・田植え期間に琵琶湖へ流入する農業濁水を防止するため、農業者が水田をパトロールし、排水の透視度を調査するなどの取組が進んでいます。

また、循環かんがい施設や反復利用施設などを効率的に運用・維持管理し、農業排水を再利用する取組も支援しています。

これらの取組は、環境こだわり農業の推進とも連携し、総合的な農業排水対策として進めています。

◆農業排水の水質保全対策整備面積(平成30年度)

2,769ha

◆循環かんがい施設(水質保全対策事業 木浜地区)



循環用ポンプを備えた浄化池

◆点源、面源負荷の発生から琵琶湖に流入する概念図



●河川浄化事業の実施

＜流域政策局＞

河川浄化事業では、湖底に堆積した汚泥からの栄養塩類の溶出を覆土によって抑制(底質改善対策)することや河川から琵琶湖へ流入する前に栄養塩類を除去(流入河川対策)することにより水質浄化を進めています。



底質改善対策
(覆土工・植生工)



流入河川対策
(植生浄化)

◆河川浄化事業実施箇所

赤野井湾、木浜内湖、西の湖